

東京銀行新

出資金棄損 検証を

都議会委で
尾崎氏追及 都の責任は重大



尾崎都議

日本共産党の尾崎あや子東京都議は14日の都議会経済・港湾委員会、都が設立した新銀行東京が4月1日に東京TYフィナンシャ

ルグループと経営統合し完全子会社化する問題をとりました。

東京TYは東京都民銀行と八千代銀行の持ち株会社です。新銀行東京は石原慎太郎都政が1000億円を出資して2005年4月に開業、08年に破綻状態に陥り、都が400億円を追加出資しまし

た。

尾崎氏は専門家の意見も紹介し、経営統合の際に両社が行う普通株式交換の比率(新銀行東京1株に対して東京TYが0.24株)は、両社の算出した平均値よりも低いと指摘。「新銀行の株主が東京都であることなど『営業権』についてど

う考慮されたのか」と
ただしました。

産業労働局の野間達也金融監理部長は「財務の状況、資産の状況、将来の見通しなどの要因を総合的に勘案し、両社間で慎重に交渉・協議を重ねた結果、合意した」と答えるにとどまりました。尾崎氏は「経営統合に際し、出資金1000億円の多くを棄損することについて、(都の)責任の重大性を検証していくべきだ」と主張しました。